ł	出	生	届		第	平成 年 平成 年	月 月	日 号 日	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	送 平)	成年	月	長印
	平成	年		国出 数	書類調査	戸籍記載	記載調	号 調	事 査 票	附	票 住	民 票	通 知
生	(よ み 子 の	か た 氏 名		氏	 	名		の	□嫡□	出でない	子子	(□男
まれ	生まれ			年	月	В		□ 午 ī □ 午 ī	前 後	時 番	地	分	7.
た 子	たり、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							듯 듯					
	生 年	:まれた \	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	年	月 日](満	歳)	母:	年	 月	日	(満	歳)
生まれた		彩 のときは \ けを書い さい /) 筆頭者 <i>0</i> 氏名)							番 地番		
子の父と母	子 同居を始めたとき 年 月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください) の 子が生まれたときのうち早いほうを書いてください) ときの世帯のときの世帯のときの世帯のよりではいる世帯のは、企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までは、1年末満の契約の雇用者は50。 とまれたは、同居を始めたとき、または、同居を始めたとき。または、同居を始めたとき。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								<u>ハ丿</u> での世帯				
その他			` 父の職業					母の卵	项表				
届	□ 1. 母 □ 2.法定代理人() □ 3. 同居者 □ 4. 医師 □ 5. 助産師 □ 6. その他の立会者 □ 7. 公設所の長 住 所 番地												
出人	本 籍 署 名			番 号 番 地 筆頭者 番 の氏名									
事		番号					EP	絡	話 宅·勤	年 ()	月	日生].携带

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かない でください。

子が生まれた日からかぞえて14日以 内に出してください。

届書は、1通でさしつかえありません。

子の名は、常用漢字、人名用漢字、 かたかな、ひらがなで書いてくださ

よみかたは、戸籍には記載されませ ん。住民票の処理上必要ですから書 いてください。

□には、あてはまるものに図のよう にしるしをつけてください。

筆頭者の氏名には、戸籍のはじめに → 記載されている人の氏名を書いてく ださい。

届け出られた事項は、人口動態調査 (統計法に基づく基幹統計調査、厚生 労働省所管)にも用いられます。

子の父または母が、まだ戸籍の筆頭 者となっていない場合は、新しい戸 籍がつくられますので、この欄に希 望する本籍を書いてください。

届出人は、原則として子の父また → は母です。届出人が署名押印した あと届書を持参する方は親族、そ の他の方でもかまいません。

◎母子健康手帳と届出人の印を ご持参ください。

出生証明書

記入の注意

	子の氏名			男女の別	1 男	2 女	
	生まれたとき	平成 年	月 日	午午	睦	分	夜の12時は 「午前0時」、 ◆ 昼の12時は 「午後0時」と
		出生したと ころの種別	1病院 4自宅	2診り 5そ(助産所	書いてください。
10)	出生したところ及び	出生したところ			番地番	号	
	その種別	(出生したところ の種別1~3) 施設の名称					
11)	体重及び身長	体重	グラム	身長		ンチメートル	体重及び身長 は、立会者が医 → 師又は助産師以 外の者で、わか
12)	単胎・ 多胎の別	1単胎	2多胎(子	中第	子)	らなければ書かなくてもかまい ません。
13)	母の氏名			妊娠週数	満 遁	I E	
14)	この母の出産した子の数	出生子 (元 死 死 産児 (妊 が 死 産児 (妊 婦 妊 婦 妊 婦 妊 婦 妊 婦 妊 婦 妊 婦 た か ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	人胎	この母の出産 した子の数は、 当該母又は家人 などから聞いて 書いてください。			
15)	1. 医 師 2. 助 産 師 3. そ の 他	上記のとおり記(住所)	正明する。 平成	年	月番地番	日号	この出生証明 書の作成者の順 序は、この出生 の立会者が例え ば医師・助産師・ ともにこちと が場合にはとの が書くように1、2、
		(氏名)			印		3の順序に従って 書いてください。

シャクヤク